

REBOOTER
シリーズ 別冊

Gmail設定手順書

2023/4作成 第1.0版

明京電機株式会社

1. 機能概要

弊社REBOOTERのうちSSL/TSLメール対応機種では、Gmailをリブーターに設定することが可能です。ただし、無料版のGmailでは一日の送受信数に制限があるなどご考慮いただく必要がある要素もあります。

★「メール制御」を実行したい場合、リブーター側にセットするGmailアドレスには「広告メールや(リブーター以外からの)通知メールができるだけこない」状態にしてください。また、既に受信ボックスに大量のメールがたまっている状態になっている場合、(古いものから順番にメール確認を行うため)コマンドが書かれた制御メールの処理に到達するまでかなりの時間を要してしまうおそれがあります。使用するGmailは受信ボックスが空の状態にしてからセットしてください。

2. 設定にあたって

[1] Googleアカウントでの「アプリパスワード」取得

「Googleアカウント」ページにて、ご使用になるGmail(Googleアカウント)でログインしてください。(以下、画像は2023/4時点のものです。)



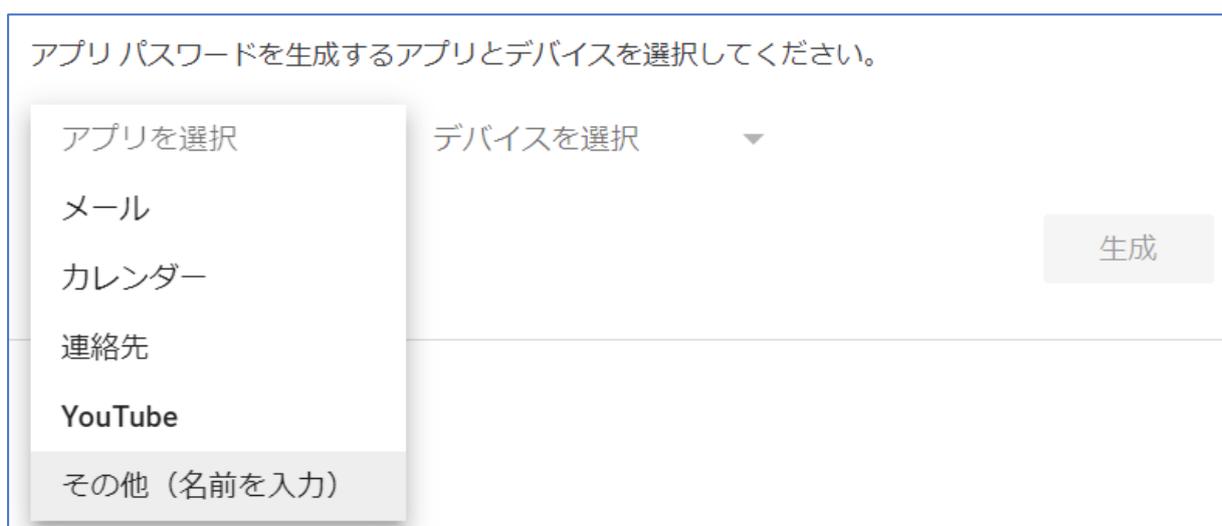
「セキュリティ」の項目を選択し、「Googleにログインする方法」の見出しにて「2段階認証プロセス」を「有効」にしてください。そして、「2段階認証プロセス」の「>」をクリックします。



「2段階認証プロセス」のページに「アプリ パスワード」の見出しがあります。「>」をクリックします。



「アプリ パスワードを生成するアプリとデバイスを選択してください。」のところで、「アプリを選択」→「その他(名前を入力)」を選択します。ここに名称を入力し、その後「生成」ボタンをクリックします。



「生成されたアプリ パスワード」画面が表示されます。

★表示された「アプリパスワード」をメモしてください。

(このパスワードをリブーターに設定します。)

生成されたアプリ パスワード

お使いのデバイスのアプリパスワード



使い方

設定しようとしているアプリケーションまたはデバイスの Google アカウントの設定画面を開きます。パスワードを上に表示されている 16 文字のパスワードに置き換えます。

このアプリパスワードは、通常のパスワードと同様に Google アカウントへの完全なアクセス権が付与されます。このパスワードを覚えておく必要はないので、メモしたり誰かと共有したりしないでください。

完了

Googleに関する下準備はここまでです。

[2] リブーターへの設定

★前もって「ネットワーク設定」-「基本設定」にて、リブーターがGoogleのサーバーにアクセスできるように「デフォルトゲートウェイ」などの設定しておいてください。

「ネットワーク設定」-「メール設定」の「メールサーバー設定」にて次のように設定します。

メールサーバー設定		
ユーザー名	<input type="text" value=".....@gmail.com"/>	「ユーザー名」: Gmailアドレス
パスワード	<input type="password" value="....."/>	「パスワード」: ★[1]で準備した「アプリパスワード」
メールアドレス	<input type="text" value=".....@gmail.com"/>	「メールアドレス」: Gmailアドレス
受信サーバー	<input type="text" value="pop.gmail.com"/>	「受信サーバー」: pop.gmail.com もしくはimap.gmail.com
受信ポート	<input type="text" value="995"/>	「受信ポート」: popの場合995 imapの場合993
SSLメール受信	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	「SSLメール受信」: [有効]
送信サーバー	<input type="text" value="smtp.gmail.com"/>	「送信サーバー」: smtp.gmail.com
送信ポート	<input type="text" value="465"/>	「送信ポート」: 465
SSLメール送信	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	「SSLメール送信」: [有効]
SSL証明書検証	<input checked="" type="radio"/> する <input type="radio"/> しない	「SMTP Auth」: [有効]
SSL証明書エラー時の送受信	<input checked="" type="radio"/> 続行する <input type="radio"/> 続行しない	
メール確認間隔(分)	<input type="text" value="3"/>	
再接続時間(秒)	<input type="text" value="30"/>	
形式	<input type="radio"/> IMAP <input checked="" type="radio"/> POP3	
SMTP Auth	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="checkbox"/> CRAM-MD5 <input checked="" type="checkbox"/> LOGIN <input checked="" type="checkbox"/> PLAIN	
IMAP Auth	<input checked="" type="checkbox"/> CRAM-MD5 <input checked="" type="checkbox"/> LOGIN	
APOP	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効	

→同じ「ネットワーク設定」-「メール設定」画面の「通知先設定」に、リブーターからのメールを受信するメールアドレスを設定し、その後「送信テスト」画面にて「テストメール」を送信してみてください。

テストメール	
テストメール送信	<input type="button" value="送信"/>
エラーメッセージ	<input type="button" value="クリア"/>

本文に「テスト」と書かれたメールが届けば(送信に関して)正しく設定できています。
(受信に関しては、試験的にメール制御を行ってみる必要があります。)

設定に不備がある場合、(幾度が送信リトライを繰り返した後)「エラーメッセージ」の下の部分にサーバーからのエラーコード情報がそのまま表示されます。そのエラーコードをもとに設定を修正してください。

3. 無料版Gmailの注意点

Gmailには下記のような上限が情報公開されています。(2023年4月時点)

[a] 1日に500通を超えるメールを送信できない。

(<https://support.google.com/mail/answer/22839>)

[b] 新着メールのチェック間隔が10分以内の場合、アカウントへのアクセスがブロックされることがある。

(<https://support.google.com/mail/answer/7126229>)

そのため、「通知メール、制御結果メールの総数が1日に500通を超えないように」調整した設定・運用をしたり、「メール確認間隔」を10分以上に設定をしたりする必要があります。